



2023(令和5)年1月25日発行

発行/大阪大学医学部附属病院広報委員会(総務課)  
住所/〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-15  
TEL / 06-6879-5111(代表)

QRコードから本院ホームページをご覧ください



<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp>

禁転載 (この紙面は再生紙を使っています)

## 患者さんにベストな医療の提供に取り組む

# 特定看護師



本院は複雑な病状の患者さんが療養されており、質の高い、安全・確実な特定行為を提供するために「特定看護師」という認定制度を採用しています。「特定看護師」は、国の定める研修修了後、医師の指導を受けながら半年から1年程度かけて特定行為の経験を積み、委員会の承認を経て病院長から認定されます。現在、本院には研修を修了した看護

### 阪大病院の「特定看護師」

例えば、手術後の患者さんが発熱した場合、通常は医師に病状を報告してから検査や

知識を統合して病状を捉え判断します。

看護師は患者さんの病気だけでなく療養生活の視点も持って看護を提供しています。患者さんにとって最も身近な医療者であるからこそ、患者さんの病状のわずかな変化をキャッチできます。特定行為を実践する看護師は、その変化が重大なものかどうか、早く対応した方が良いかどうか、研修で学んだ医学や薬学の知識を統合して病状を捉え判断

### 看護師が医行為を行う意義

超高齢社会に向けて増加する医療ニーズに対応するために、看護師の特定行為制度が創設されました。特定行為とは、「手順書」という医師の指示書に基づき、医師が行っている医行為の一部を看護師も実践できるものです。特定行為を実践する看護師は国の定める専門的な研修を受講し、高度な知識と実践力を備え、「患者さんにとっての最善」を常に考えながら活動しています。

例えば、手術後の患者さんが発熱した場合、通常は医師に病状を報告してから検査や

知識を統合して病状を捉え判断します。

看護師は患者さんの病気だけでなく療養生活の視点も持って看護を提供しています。患者さんにとって最も身近な医療者であるからこそ、患者さんの病状のわずかな変化をキャッチできます。特定行為を実践する看護師は、その変化が重大なものかどうか、早く対応した方が良いかどうか、研修で学んだ医学や薬学の知識を統合して病状を捉え判断

処置が行われます。しかし、特定行為を実践する看護師は、患者さんの病状を即座に判断し、早い時期に必要な検査や点滴の投与などの対応をする



袖口の刺繍が目印

師が8名在籍し、うち3名が「特定看護師」の認定を受けています。「特定看護師」は青色のユニフォームを着て活動しています。

## 阪大病院にかかりつけの患者さんへのご案内

新型コロナウイルス感染症の予防の基本は今もワクチンですが、本院に通院中の患者さんの中には、ご自身の疾患や治療の影響により、新型コロナワクチンを接種しても十分な免疫が得られにくい方がいらっしゃいます。そのような免疫不全の方を対象に、予防のための新型コロナウイルスに対する中和抗体薬が適応となっています。これにより半年程度は新型コロナウイルスに感染しにくくなる考えられます。具体的に対象となるのは以下の方になりますが、詳しくは主治医にご確認ください。

なお、対象となる場合、費用負担は注射処置料のみです。この中和抗体薬を注射しても新型コロナウイルスに感染することはありますので、これまでどおりの感染対策は必要です。

### 中和抗体薬の投与対象

- 抗体産生不全あるいは複合免疫不全を呈する原発性免疫不全症の患者
- B細胞枯渇療法(リツキシマブ等)を受けてから1年以内の患者
- プルトン型チロシンキナーゼ阻害薬を投与されている患者
- キメラ抗原受容体T細胞レシピエント
- 慢性移植片対宿主病を患っている、又は別の適応症のために免疫抑制薬を服用している造血細胞移植後のレシピエント
- 積極的な治療を受けている血液悪性腫瘍の患者
- 肺移植レシピエント
- 固形臓器移植(肺移植以外)を受けてから1年以内の患者
- 急性拒絶反応でT細胞又はB細胞枯渇剤による治療を最近受けた固形臓器移植レシピエント
- CD4Tリンパ球細胞数が50cells/ $\mu$ L未満の未治療のHIV患者

### 認定を受けた3人

ハートセンターは、心臓に病気を抱える患者さんが療養しているため、時に患者さんの状態が急激に悪化することがあります。これまで医師が到着するまでできなかった「橈骨動脈ラインの確保」、「動脈穿刺と血液ガス分析」、「循環に関連した薬剤の調整」の特定行為を実践し、患者さんの状態変化への早期対応と悪化の予防に取り組んでいます。また不要になったカテーテルを早期に抜去し、患者さんの不快感を除去できる特定行為も実践しています。



特定看護師 清原 奈緒 さん

治りにくい傷を早く治療させる器具を用いた治療(陰圧閉鎖療法)の特定行為を実践しています。患者さんの動きに合わせて痛くないよう器具を装着し、弱くなった皮膚の保護にも配慮しています。患者さんの療養生活をふまえたケアの工夫ができるのは、看護師の強みです。傷の治療状態や最適な器具の選択について医師と共に検討することで、「一緒に見てもらっている安心感がある」と患者さんからの言葉をいただき、さらに良いケアの提供を目指しています。



特定看護師 田中 寿江 さん

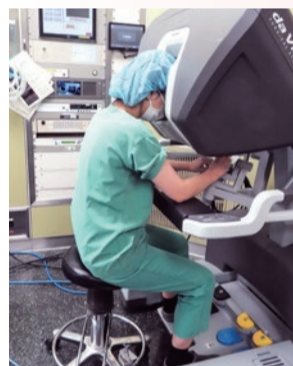
人工呼吸器は重要な生命維持装置であり、患者さん個々の呼吸状態に応じて細やかに設定を変更します。通常は医師が設定を変更しますが、「人工呼吸器の設定の変更と離脱」という特定行為を活かし、患者さんの「息がしんどい」という苦痛に速やかに対応しています。呼吸リハビリ中の身体の動きや呼吸の変化に合わせて設定を変更し、1日も早い人工呼吸器からの離脱に向けて医師と協働しています。



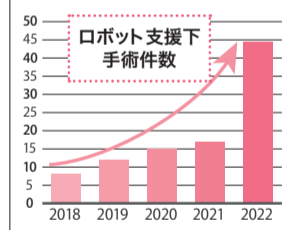
特定看護師 中西 美貴 さん

## 2台のダヴィンチ 活用について

本院産科・婦人科は平成30年5月から手術支援ロボット da Vinci (ダヴィンチ) を使用した子宮体がん、子宮頸がん、子宮筋腫、良性腫瘍及び骨盤臓器脱の手術を開始し、計100件近く実施してきました。特に令和4年(2022)年は1月に院内設置のダヴィンチが2台体制となったのを機に年間の手術件数が44件と、前年の倍以上に増加しました(グラフ)。今後、症例を積み重ねることによって出血量を最小限に抑えて患者さんの体の負担を少なくするさらなる手術スキルの向上も期待



座った状態でアームを操る執刀医



待てます。子宮の周りには多くの血管が集まっている分、出血リスクが高い傾向にあり、手術の際は緻密で高い技術が求められます。従来、執刀医は内視鏡手術を実施するためには補助役の医師と共に長時間立ちたまの姿勢で手術にあたりてきました。これに対してロボット支援下手術は執刀医1人で可能になり、座った状態で4本のアームを操って手術を進められるのが特徴です。操作するアームはブレることがないため、執刀医が最終落ち着いた状態で手術を継続できることが大きな利点で、人の専門医が在籍しており、さらに件数が増える見込みです。今後、ダヴィンチによる手術も積極的に展開していくことにより、これまで以上に患者さんへの負担の少ない手術を実現できるよう努めてまいります。

## 阪大病院のロゴマークができました



医学部の伝統的なイメージと、高度で安全、快適な医療を実現する阪大病院の未来的なイメージを掛け合わせたものです。大阪大学の伝統的な意匠は「スカイブルーの銀杏」ですが、この銀杏の葉を翼に見立て、飛躍、羽ばたきを表すとともに、阪大病院の6つの部門および専門外来・中央診療施設をネットワークで繋ぎ、患者さんを支える様子を描いています。今後、様々なシチュエーションで、皆さまも目にされることあると思います。よろしくお願いたします！

## 令和7年運用開始予定 統合診療棟の外装確認会を実施しました

現場にて外壁部分の一部を作成



統合診療棟正面イメージ



安全はすべて

「統合診療棟(令和7年運用開始予定)の建設工事が順調に進んでいます。令和4年12月12日には統合診療棟の正面玄関となる東面の一部を現場で試作し、外装確認会を実施しました。西尾章治郎本学総長を始め参加した病院関係者から様々な意見がありました。統合診療棟正面は、特殊加工木材の軒天井や金属断熱パネルなどで陰影をつけることにより水平ラインを強調し、巨大建物の圧迫感を軽減したシンプルで品格のある外観となるよう計画しております。工事期間中は、騒音や工事車両の通行等ご迷惑をおかけしますがご理解いただきますようお願いいたします。

PHOTO ホスピタルミニ・ニュース TOPICS



令和4年 9月27日

小児医療センターからウルトラマンを応援!

「ウルトラキッズプロジェクト」は、病氣と闘う子どもたちに、ライブ配信で「ウルトラヒーローショー」等をお届けする取り組みで、舞台は「そらぶちキッズキャンプ(北海道)」。全国30施設のウルトラキッズとオンラインで力を合わせ、怪獣と戦うウルトラマンに「ウルトラチャージ」で応援しました。



令和4年度 大阪大学賞を受賞



写真左から、西尾大阪大学総長、忍那賢志感染制御部長、岩崎朋之看護部長、内山昭則集中治療部副部長

本院の全診療科、全部門として大阪大学賞を受賞いたしました。引き続き、社会・地域医療に貢献できるよう努めてまいります。

業績名 全院的なCOVID-19診療体制の構築と継続、及び、地域医療への貢献

阪大ワニカフェ 面白い巨塔編 を開催



令和4年 12月4日

参加者全員が車座になって語り合う様子

大阪大学発!地域の皆さまとの対話イベント

第1回目となる今回は猪阪善隆腎臓内科長の「治療がづらい」という患者の声をどう受け止めるか?という話題提供に続いて、背景の異なる参加者それぞれの体験談や意見が活発に交わされました。今後もこのようなイベントを通じて医療者と患者さん、一般の方々でエピソードを共有し、様々な立場から、より良い治療や療養について考える機会を設けていきます。

小児医療センターで サンタ回診



令和4年 12月20日

サンタやトナカイに扮した本院の医師・看護師たちが、チャリティーイベント「Osaka Great Santa Run 2022」よりお贈りいただいたプレゼントを、病院でクリスマスを迎える子どもたちに笑顔とともに届けました。



循環器診療の「最後の砦」に

24時間体制の救急医療も実施



循環器内科

循環器内科は心臓や血管の疾患を中心に診療をしています。心不全治療においては、心臓移植施設認定施設であり、軽症から重症まで全ての心不全患者さんの治療に取り組んでいます。心筋症は今まで多くの症例を経験し、鑑別診

断、予後予測、治療に至るまで、ゲノム解析などの先進的な試みも含めて力を入れています。虚血性心疾患に対しては、冠動脈CT画像をコンピュータ解析することにより、冠動脈狭窄病変の血流低下の程度を正確に把握することが可能なFFRCT検査を導入し、負担なく外来で検査を行

ったうえで、カテーテル検査やカテーテル治療を実施しています。弁膜症に関しては、大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)に加えて、僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療であるMitraClip(経皮的僧帽弁クリップ術)を積極的に取り組んでいます(写真)。MitraClipは心臓の拍動を止めることなく、カテーテルで僧帽弁閉鎖不全症の治療ができます。そのため、併存疾患や重症心不全のために、開胸手術を断念せざるを得なかった患者さんも、安全に効果的に治療ができます。不整脈疾患に関しては、不整脈の原因となる心筋をカテーテルで焼いて根治するカテーテルアブレーション治療と、徐脈や致死性不整脈に対して、ペースメーカーや植込み型除細動器などの植込み型心臓デバイス治療を行っています。近年、IT技術と医療の融合といえる遠隔モニタリングで、不整

命を守るエンジニア集団 ECMOなど医療機器扱う



臨床工学部

「いのちのエンジニア」とも呼ばれる臨床工学技士34名が、臨床工学部に所属しています。臨床工学技士は、患者さんの生命維持に必要な装置などを

さまざまな医療機器を扱うスペシャリストです。医師や看護師らとともに本院のチーム医療を支えています。新型コロナウイルス感染症のニュースで、ECMO(エクモ)という

機器の名前を耳にされたことは少ないでしょうか。エクモは、肺の代わりに体外で血液に酸素を取り出す装置です。効果的な治療薬がなかった当初、重症患者治療の「最後の砦」とも言われました。この装置を操作するのが、トレーニングを受けた臨床工学技士です。

エクモだけでなく、心臓手術で使う人工心肺装置や、透析などに用いる血液浄化装置、未熟児の赤ちゃんを守ってくれる閉鎖式保育器など、扱う機器は多岐にわたります。さらに、あらゆる医療機器の購入、保守・点検、廃棄などの管理も担います。当部が管理する機器は、補助人工心臓や手術支援ロボット、心臓ペースメーカー、電気メスなど計約5000台に及びます。全てをデータベースに登録し、一部はICタグを付けて管理

は、内科と外科が一体となって患者さんの病状を評価し、より良い医療を提供する本院の特徴と言えます。また、高度救命救急センターと連携し、24時間体制の救急医療を実施し、緊急症例の受け入れを行っています。

っています。私たちは、日本の循環器診療の最後の砦としての使命感を持ち、同時に「患者さんにとっての幸せとは何か」を共に考えながら、丁寧で誠実な医療を心がけています。

移植医療に力を入れる本院は、補助人工心臓を使って心臓移植を待つ患者さんも多く、在宅療養に移行する患者さんにバッテリー交換などのトレーニングを行うことも重要な任務です。また、新しい医療機器を導入した際に、医療スタッフに使い方を教えること

も当部の役割です。現在、医療機器は専門化・複雑化が進み、臨床工学技士は以前にも増して重要な存在になっています。本院の臨床工学技士は、集中治療部(ICU)や総合周産期母子医療センター、高度救命救急センター、手術部、ハートセンターなど、どの部署

でも業務に当たれるよう育成されているのが特長です。比較的新しい国家資格であることや、患者さんと接する機会が少ないことから、あまり知られていない職種ですが、より良い医療を提供するために日夜、院内を駆け回っています。

山腰事務部長



秋のおすすめ御膳



- メニューの一例 (肝臓病食)
・芋煮
・豚肉の竜田揚げ
・きゅうりの酢の物
・栗ごはん
・ほうじ茶のデザート
~2層仕立て~

今回のおすすめ御膳は、山腰俊昭事務部長が入院中の患者さんに秋を感じていただけるよう、メニューを熟考し「山形の郷土料理 芋煮」や「栗ごはん」を用意しました。患者さんから「芋煮はテレビで見たことあったけど初めて食べた。美味しかった。」「秋を感じられる食事、食べていて楽しかった。」「心遣いの食事、嬉しいです。抗がん剤治療が始まりましたが、元気が出ました。」「大規模な病院でこのような食事が出て大変感銘を受けた。食事に添えられたカードを記念に持って帰ります。」など、たくさんのご感想をいただきました。入院中の食事が患者さんの笑顔に繋がるよう、また治療の一助となるよう、今後も取り組んでまいります。

でも業務に当たれるよう育成されているのが特長です。比較的新しい国家資格であることや、患者さんと接する機会が少ないことから、あまり知られていない職種ですが、より良い医療を提供するために日夜、院内を駆け回っています。